

第2回国際協力 遺伝病遺伝子治療フォーラム

日時：2012年1月19日（木曜日）

場所：女性就業支援センター（東京都港区芝5-35-3）

13:00 ■ 開催挨拶 ■

小野寺雅史（国立成育医療研究センター）
山本 尚子（厚生労働省健康局疾病対策課 課長）
小澤 敬也（日本遺伝子治療学会 副理事長）

13:25～14:05 ■ 特別講演1：海外での遺伝子治療 ■

司会 島田 隆（日本医科大学）
Prof. N. Cartier (Hospital Saint-Vincent de Paul-University Paris)

14:05～14:45 ■ 特別講演2：海外での遺伝子治療 ■

司会 奥山 虎之（国立成育医療研究センター）
The Korean experience of gene therapy for CGD
Dr. Hyoung Jin Kang

14:45～15:25 ■ 特別講演3：海外での遺伝子治療 ■

司会 小澤 敬也（自治医科大学）
Gene Therapy for Macular Degeneration by AAV vector
Dr. Abraham Scaria (Genzyme)

15:40～16:40 ■ 臓器別遺伝子治療1 ■

司会 遠藤 文夫（熊本大学）・河合 利尚（国立成育医療研究センター）
1. 骨形成不全を呈する致死型低ファスファターゼ症の遺伝子治療
島田 隆先生（日本医科大学）
2. 骨髄間葉系幹細胞による皮膚再生機序を利用した表皮水疱症治療
玉井 克人先生（大阪大学）

16:40～17:40 ■ 臓器別遺伝子治療2 ■

司会 山口 照英（医薬品医療機器総合機構）・大橋 十也（東京慈恵会医科大学）
3. 網膜色素変性に対する視細胞保護遺伝子治療
池田 康博先生（九州大学）
4. 筋ジストロフィーに対するエクソン・スキップ療法の現状と未来
武田 伸一先生（国立精神・神経医療研究センター）

17:40～18:10 ■ 患者会から ■

司会 金田 安史（大阪大学）・藤本純一郎（国立成育医療研究センター）
1. 本間りえ様（ALD 親の会代表）
2. 小林信秋様（難病のこども支援全国ネットワーク）
3. 川元正司様（MPS 親の会）

18:10～18:30 ■ 総合討論 ■

司会 衛藤 義勝先生（東京慈恵会医科大学）

18:30 ■ 閉会の挨拶 ■

衛藤 義勝（代表幹事）

主催：厚生労働省難治性疾患調査研究班ライソゾーム病調査研究班（衛藤班）
国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム実行委員会
共催：厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）（小野寺班）
厚生労働科学研究費（政策創薬総合研究事業）（代表：奥山虎之）
後援：NPO 法人日本ライソゾーム病研究センター

ご案内

第2回 国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム

2nd International Collaboration Forum of Human Gene Therapy for Genetic Diseases

謹啓、平素より大変お世話になっております。

さて、昨年度より開催いたしております国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラムを、今年度も諸先生のご配慮により、別紙に示す日程で開催する運びとなりました。

近年、欧米諸国では難病、特に遺伝病に関わる難病に対し、遺伝子治療の有効性、安全性が数多く報告され、その一部の疾患では幹細胞移植の代替療法として認可されるに至っております。ただ、我が国においては遺伝子治療を支えるインフラの不備から、遺伝子治療を治療の一選択肢としてこれら難病を抱える患者様に提供できない状況にあります。このことを深く鑑み、この状況を打開するためには単に医師、研究者がその研究成果を発表するだけではなく、遺伝子治療に関わる全ての関係者ならびに実際の生活においてご苦労されている患者様やそのご家族が一堂に会し、「一体何が問題なのか」を明確にすることで少しでも我が国の遺伝子治療実施体制を整備していくことが重要と考え、このフォーラムは開催されました。

昨年度は海外から4名の研究者がお越しになり、各国の遺伝子体制を紹介されました。また、厚生労働大臣政務官であられました岡本充功衆議院議員から「我が国の難病研究の現状と将来」のテーマで講演を頂きました。そのため200余名という本当に多くの方がこのフォーラムに参加され、改めて遺伝子治療への期待感を感じずる次第でした。

今年度は、特に目、皮膚、神経・筋肉、骨格等の臓器に症状を来す疾患に焦点を当て、その分野における遺伝子治療の進捗情報をご報告する予定です。また、今年度は特別に患者団体の方から「我が国における難病治療の問題点等」をご指摘頂く予定であり、我が国の遺伝性難治性疾患に対する遺伝子治療の実情とその問題点を把握できる絶好の機会となっております。

本フォーラムに関し医師・研究者のみならず、創薬等に関わる企業の方々ならびに患者関係者各位にご参加頂きたく、ここにご案内申し上げる次第です。

謹白

実行委員長：衛藤 義勝（東京慈恵会医科大学遺伝病研究講座教授）

委員：小野寺雅史（国立成育医療研究センター成育遺伝研究部部长）

：大橋 十也（東京慈恵会医科大学DNA医学研究所副所長・遺伝子治療部部长）

：奥山 虎之（国立成育医療研究センター臨床検査部部长・ライソゾーム病研究センター長）

：藤本 純一郎（国立成育医療研究センター臨床研究センター長）

主催：厚生労働省難治性疾患調査研究班ライソゾーム病調査研究会（衛藤班）

国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム実行委員会

共催：厚生労働科学研究補助金（難治性疾患克服研究事業）（小野寺班）

厚生労働科学研究補助金（政策創薬総合研究事業）（奥山班）

後援：NPO 法人日本ライソゾーム病研究センター

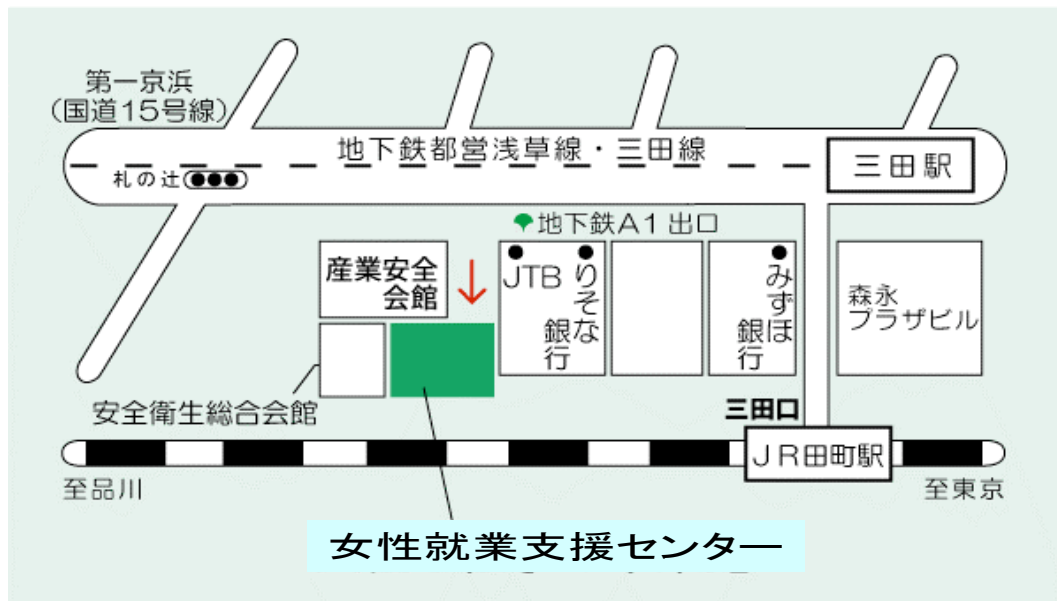
開催概要

日 時：平成24年1月19日（木）13：00～17：30予定

会 場：**会場：女性就業支援センター**（旧 女性と仕事の未来館）**JR田町駅**（徒歩3分）

〒108-0014 東京都港区芝5-35-3

TEL：03-5444-4151



定 員：200名

受講申込：添付の受講申込書に必要事項を記入の上、ファックスにてフォーラム運営事務局の株式会社キタ・メディア 担当：北畠（Fax：03-3814-1448）までお申し込み下さい。
または、氏名（フリガナ）、勤務先・所属、連絡先住所（電話、FAX）を明記の上、e-mail（tkitabatake@kitamedia.co.jp）にてお申し込み下さい。申し込みを受け付けましたら参加証を送付致しますので、当日受付へご提出下さい。

申込締切：平成24年1月13日（金）

（定員になり次第締め切らせていただきますので、ご了承下さい）

参加費：無料

留意事項：・無許可の写真撮影、録音等は禁止させていただきます

- ・最新の情報を自由にお話いただくためスライドコピー資料は作成しません
- ・積極的な質問をお願いします（質問に際してご所属・お名前は言わなくて結構です）

連絡先：東京慈恵会医科大学DNA医学研究所遺伝子治療部・小林博司

電話 03-3433-1111、内線2386

Fax : 03-3814-1448

宛先：フォーラム運営事務局

株式会社キタ・メディア 担当：北畠

平成24年1月19日開催
第2回国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム
参加申込書

【申込締切：平成24年1月13日（金）】

勤務先_____

所 属_____

氏 名_____

連絡先住所 〒_____

電 話_____

F A X_____